

東京医科歯科大学 21 世紀 COE プログラム 「歯と骨の分子破壊と再構築のフロンティア」  
第 12 回公開シンポジウム

## 歯科インプラント治療の最近の進歩：再生医療との融合

日時： 2008 年 1 月 20 日（日） 9:30 – 17:00

場所： 学術総合センター（一ツ橋記念講堂） 東京都千代田区神田一ツ橋 2-1-2

歯科においては、口腔組織を喪失して生じる機能障害を、生体材料を用いて機能回復する治療が古くからおこなわれてきました。近年歯科インプラント治療は確実な治療法となりましたが、歯科インプラント治療も、生体材料を用いて組織を補填する従来からの治療法の一つであることに変わりありません。一方、失われた組織を再生させる再生医療が注目を集めており、歯科領域においても歯周組織、歯槽骨、口腔粘膜の再生治療が臨床応用され、また歯の再生に関する研究もおこなわれています。このような状況において、口腔領域の再生に関連して先端的な研究をおこなっている学外からの 4 名と学内の 3 名が講演をおこない、今後インプラント治療が再生医療とどのように関わっていくかについて予想することを目的に本シンポジウムを企画しました。

### 講演者および講演内容

**Gregory R. Mundy** (Vanderbilt Center for Bone Biology, USA)

Statins as mimics of BMP2 to promote bone regeneration and repair

**Rainer Schmelzeisen** (University Clinic Freiburg, Germany)

Chair side stem cell application in dentistry and implantology

**各務 秀明** (東京大学 医科学研究所 幹細胞組織工学)

体性幹細胞を用いた顎口腔領域の再生医療：歯槽骨再生の臨床研究

**辻 孝** (東京理科大学 生物工学、文部科学省学術フロンティア再生工学研究センター)

未来の再生医療のための歯の再生

**和泉 雄一** (東京医科歯科大学 歯周病学)

歯周組織再生の現状と近未来

**山口 朗** (東京医科歯科大学 口腔病理学)

骨再生の分子基盤とその応用

**春日井 昇平** (東京医科歯科大学 インプラント・口腔再生医学)

歯科インプラント治療の現状と近未来



同時通訳あり。参加を希望される場合、12月30日までに「氏名、住所、電話およびファックス番号、e-mail アドレス」を下記まで、メールあるいはファックスでご連絡ください。

東京医科歯科大学 インプラント・口腔再生医学分野 e-mail: kas.mfc@tmd.ac.jp fax: 03-5803-5934